（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生、採用について経営計画書・就業規則に記載し経営トップが関与し差別しない体制を構築している。（社内・外部研修の開催、定期相談を実施）					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を経営計画書・就業規則に記載し明確にしている。相談窓口を設置している。 ・外部研修会に参加。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法等の改正内容を経営者も含め共有している。長時間労働是正の為、環境整備を実施し改善活動、時間管理、安全管理を行っている。各働き方に応じて勤務体制の対応を実施。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人技能実習制度の技能実習生に対して適切な優遇、労働環境を整えている。 ・毎日、技能実習生に対して面談を実施し意見交換を行っている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社内で安全衛生委員会の組織を設置。労働環境の整備の取り組みを行っている。 ・社内パトロール実施・改善や産業医の面談等の実施。 ・外部研修受講や社内研修の実施を行っている。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスに関する方針を経営計画書に記載し明確にしている。 ・産業医と連携体制を整備している。 ・年１回ストレスチェックを実施。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・多様な人材が活躍できる様に経営計画書に方針を定め、実施している。 ・多様な人材が活躍できる様に労働環境の整備を行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・経営計画書の「年度計画」に基づき、社内教育として勉強会を定期的に開催している。 ・職務、役割に応じて外部研修に参加している。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・派遣・パートタイム・有期雇用労働法の改正内容を理解し同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応をおこなう(予定) ・厚生労働省主催のセミナーに参加。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・全国健康保険協会長野支部協会けんぽの「健康づくりチャレンジ宣言」を実施。 ・一般社団法人サキベジ協議会に所属し、「サキベジ健康企業」の宣言を実施。 ・健康経営優良法人認定（経済産業省）に申請中。 ・禁煙を経営計画書に記載し推奨している。禁煙勉強会等も実施。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の分別の徹底、安全衛生委員会による分別チェック ・ゴム廃棄重量を把握し、月次報告会にて毎月課長職以上で確認している。問題が発生した場合は原因調査、改善活動を行っている。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・工場ごとのエネルギー（電気、重油）使用量を把握し、月次報告会にて毎月課長職以上で確認している。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・水銀灯から、LEDへの切り替えによる直接、間接（冷房用）電気使用量の削減。 ・営業車にハイブリット車導入。 ・ボイラーの廃熱を利用（予定）							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・工場内で使用する化学物質のMSDS管理をしている。 ・有機溶剤種類の変更（より害の少ない物へ）			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・工場排水に関して分離槽（三槽）の設置、PH測定の実施。 ・適切な、原材料、燃料、廃棄物の管理による、環境破棄への配慮。 ・内分泌攪乱物質の疑いのある物質から代替物質への切り替えを進めている。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・工場の資源利用の削減、再利用を推進している。 ・各種機械冷却水の循環再利用を行っている。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・工場ごとの水（水道水、地下水）使用量を把握し、月次報告会にて毎月課長職以上で確認している。問題が発生した場合は原因調査、改善活動を行っている。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・経営計画書に環境に関する方針を定め実施。 ・エコアクション21、2021年度取得予定。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境に関する報告書を作成し公表している。 ・会社案内で、環境方針を掲げている。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・生産設備の冷却に地下水を利用している。 ・工場、事務所に太陽光パネルを設置し、グリーン電力の使用に努める予定。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・農林水産省産学官連携によりセルロースナノファイバーの実用化に取り組んでいる。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・経営計画書の「決算に関する方針」・「ビジネスパートナーに関する方針」で行動規範を定めて社内で浸透を図っている。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・経営計画書の「販売に関する方針」「お客様に関する方針」で行動規範を定めて社内で浸透を図っている。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許の取得・管理をしている。 ・製品開発における特許侵害調査を実施する。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・就業規則内で「秘密保持」を明記して体制を整備している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・自社製品の原材料サプライチェーンを把握している。 ・MSDSの管理確認を行っている。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・経営計画書の「ビジネスパートナーに関する方針」で年1回計画的に全外注監査を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品に使用している原材料の、含有化学物質調査により、安全な製品を提供。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001を取得、JIS認定工場、日本水道協会第1種検査工場を取得し、良い品質、良いサービスを提供、また、持続する仕組みを構築している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	製品設計時に含有化学物質調査、配合の最適化により、環境に配慮した製品設計をしている。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	人々のライフライン上水道、下水道等の継手部ゴムパッキンを開発、生産、供給している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域企業、教育現場との対話・工場見学を実施し、対話に基づき、事業の地域への影響を把握を行い改善に努めている				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域周辺の托鉢を計画的に活動している ・地域の次世代を担う人材(学生)への交流・育成機会(デュアルシステム)を提供している				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地域の特産品を優先的にお客様の贈答品として利用している								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営計画書に、経営理念を明文化している。 ・経営者が経営計画書を使い、期首に全社員へ経営理念、経営目標を説明し、毎朝全社員で、経営計画書の読み合わせを行い共有している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・経営計画書で遵守の重要性を全社員で共有している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・責任部署、担当委員会を設置している。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を月次報告・実行計画・各点検等で把握し、具体的な内容に努めている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・経営計画書を活用し、月次報告・実行計画・各点検でリスクを洗い出し、適切な対策を講じている。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・経営計画書を活用し、月次報告・実行計画、委員会活動、各点検等で、CSR活動を整備している。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事業継続計画(BCP)の策定を実施する。(予定)									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者候補がいる。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）